

川村学園女子大学大学院 人文科学研究科

【カリキュラム・ポリシー】

現代社会の抱える諸問題を見据えて、人間・文化・社会に対する高度な知識と応用力・実践力を身につけ、専門性をもって問題の解決にあたり、社会に貢献できる人材を育成するために、3専攻の専門に沿ったカリキュラムを編成する。

<心理学専攻>

臨床心理学領域：

1. 臨床心理学の基礎を必修とし、実習・スーパーヴィジョンにより心理臨床領域の実践力が身につくようカリキュラムを編成する。
2. 臨床心理学の基礎と実習のみならず、認知、社会、発達など幅広い科目を設置し、心理学全般の高度な知識、理解力を養成する科目を置く。
3. 多様な現場に対応した即戦力・応用力を身につけられるよう、各種の治療的理論や技法、心理療法を修得するための科目を配置する。

心理行動科学領域：

1. 最新の研究成果を示し、心理学の専門職に求められる高度な知識や分析力を修得できるようカリキュラムを編成する。
2. 認知心理学分野と社会心理学分野を中心に、人間の知的機能や対人関係のメカニズムを深く探究し、主体的に研究を行い得る能力を養成するための科目を設置する。

<教育学専攻>

1. 小学校教員としての教職専門性をもち、教科指導・学級運営をリードできる資質・能力を育成するために、高度な教科教育学のみならず、情報教育論、学習メディア論等、教育方法に関する科目を設置する。
2. 学校、家庭、地域社会の連携によって、児童一人ひとりの個性・能力の伸長を目指し、情熱をもって指導できる教育実践力を育成するために、特別支援教育論、発達心理学、学校カウンセリング等、児童理解に関する科目を設置する。

<比較文化専攻前期・後期>

1. 地域文化研究分野、社会・文化コミュニケーション分野、女性学分野の3分野からなる本専攻では、3分野にわたる単位取得を必須として、学際的視野を身につける。
2. 地域文化研究分野、社会・文化コミュニケーション分野では、フィールドワークに力点をおき、女性学分野では、ジェンダー視点から諸学問を照らす科目を設置する。
3. 大学院における学修の集大成として、最終年次における学位論文の作成を必修とする。その作成にあたっては指導教員制のもとに複数の教員による丁寧で学際的な個別指導を行う。

【ディプロマ・ポリシー】

人文科学研究科は、人文系総合大学院として人類共存のための総合知を探り、実践することを目的としている。その目標を実現するために、幅広い教養に基づいて人間・文化・社会に対する高度な知識と応用力・実践力を身につけ、豊かな感性を持って社会に貢献できる能力を獲得し、所定の単位を修得した院生に学位を授与する。本研究科の3つの専攻において求める能力は以下の通りである。

<心理学専攻>

1. 大学院において学んだ高度な知識や方法論、実践論等に精通し、専門領域において求められる分析力、応用力を十分に養っていること
2. 時代に求められる、自覚ある専門職・研究者として、その責務を十分に理解し、豊かな感性とともに、常に科学的視座をもち、社会に貢献する志を培っていること
3. 心理臨床の場における多様な状況において、充分に対応できる実践力や、治療的理論、技法等に習熟し、かつ、人間に対する、深い洞察力、共感性を身につけていること（臨床心理学領域）
4. 専門的領域における最新の知識、研究等に精通し、更に、自らそれを分析、深化する能力を有し、各研究領域において、応用、探究できる能力を身につけていること（心理行動科学領域）

<教育学専攻>

1. 小学校教員としての教職専門性をもち、教科指導・学級経営をリードできる、高度な教育実践力を身につけていること
2. 学校、家庭、地域社会の連携によって、児童一人ひとりの個性・能力の伸長を目指し、情熱をもって指導できる教育実践力を身につけていること

<比較文化専攻前期・後期>

1. 人間・文化・社会に関心を寄せて学際的に学び理解を深めることによって、高度な知性と教養を積極的に磨いていること
2. 専攻分野に関する専門的知識を習得し、その方法論に習熟し、それらを的確に応用しうること
3. 幅広く深い視野をそなえ、複雑化する現代社会において多方面で活躍するために求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性をもって社会に奉仕する志を養っていること